

市民と心をかよわせて署名を集める——3・27浦和駅頭でのこと

新日本婦人の会岩槻支部・県平和委員会理事 佐藤訓子

国連本部で核兵器禁止条約の交渉が始まる3月27日、衆院第1議員会館の「大集会」に参加し、そのまま浦和駅頭での宣伝署名行動に参加しました。

若い人、同世代らしき女性―岩槻駅とは違う人の流れに抗って声をかけ、署名を訴えました。

18歳の友人同士の女子2人、進学が決まって晴れ晴れとした表情で快く署名してくれました。

ポスターの寂聴さんの写真を見て足を止め、「反対するなんて、日本政府ヒドイ」と。

「こんな寒いい中、皆さんたちのように行動してくれる人たちがいてくれてうれしい」「アメリカ言いなりの日本政府はダメ」「アメリカなどは持つてよくて、他の国が持つことは許さないなんておかしいわよ」…。

次々と出てくる激励と疑問の声。「この条約ができると、作ること、使うことなどができなくなりそうです。世界の国々が核保有国に迫る条約です」と話しました。すると「唯一の被爆国なんだから、平和憲法を守って話し合いでしつかり主張してもらいたい」と応じてくれた人も。

日本政府は、反対だけ表明して「交渉会議には不参加」。政府の動向しか伝えないマスコミは、もう終わったような扱いです。もともとと伝えていかなければならないと思いました。この日は、うたごえの皆さんのを含めて15人が参加し50人から署名が寄せられました。

川口市原水協は、午後2時からと6時からの2回、川口駅東口で宣伝と署名に取り組み、8名が参加し27筆を集めました。

追悼

百歳の被爆医師・肥田舜太郎先生が、3月20日にお亡くなりになりました
被爆者の救済、原水爆禁止に一生を捧げられた先生のご冥福をお祈りします

一九四五年八月六日の夕刻、二十八歳の軍医・肥田舜太郎さんは、無数の瞳に見つめられていた。そこは広島市街から六キロ離れた村で、原爆に遭った人々がたどり着き、身を横たえていた▼肥田さんは、必死に助けを求める視線から目をそむけた。目が合えば話し掛け、治療しなければならぬが、手の施しようがないと一目で分かる人ばかりだったのだ▼だが、獣のような目をした男性と目が合ってしまった。上半身は皮膚がむけ、血み

どろだった。肥田さんが頬に手を当てると、目から恐ろしい光が消えて、優しい人間の目になった。その瞬間、男性は事切れた▼肥田さんは自伝『被爆医師のヒロシマ』に書いている。(地獄のようにおそろしい状況で、私が手をふれたのが慰めになったのでしょうか。安心してのように、人間らしく死んでいった。私にはそう思えました▼それが、飛騨山の原爆との長い長い闘いの始まりだった。米国、そして日本政府が封じ込めようとした被

爆者の姿から目をそむけずに、医師として、その体と心の傷に手をふれ続けた。助けを求める人々の視線から医師が目をそらさざるをえない状況が、いかに非人間的か。自らの体験を国内外で語り、核廃絶を訴え続けた▼肥田さんは先日、百歳で逝った。「優しい人間の目」を取りもどして逝った男性の夢を、繰り返し見続けた人生だったという。(「東京新聞」2017.3.23「筆洗」全文)

3月の6・9行動

さいたま市・浦和区

6日正午から1時間、浦和駅西口(伊勢丹前)で行動。新婦人支部11、県1、埼玉土建本部5、AALA1、県事務局2の参加。署名26筆。

川口市

6日2時からと6時から、それぞれ1時間、川口駅東口で行動。新婦人、年金者組合、救済会、教組から11名が参加。ヒバクシャ国際署名27筆、憲法署名14筆、募金500円。

桶川市

6日3時から1時間桶川駅頭で行動。新婦人2、年金者組合1の参加。署名6筆、募金201円。

越谷市

6日5時半から1時間、新こしがや駅で行動。4名の参加。署名15筆。

八潮市

11日11時から八潮駅前で行動。新婦人八潮支部から6名が参加。「倉敷から来た」と署名してくれた方がいた。署名10筆。

和光市

9日5時から1時間、和光市駅南口で行動。新婦人7、革新懇2、1000人委員会1、子育て1の参加。ヒバク写真パネルを6枚置き、横断幕2枚貼って訴えた。署名26筆。

富士見市

6日東上線鶴瀬駅東口で行動。原水協1、年金者1、生健会1の参加で署名16筆。禁止条約交渉の国際会議開催を強調して訴えた。反応はだんだん良くなっている。

熊谷市

9日5時半から1時間、熊谷駅北口で行動。土建、新婦人、くろみ、年金者、議員、原水協の6団体から20人が参加。元氣よくヒバク500枚を配布したが、署名なし。

深谷市

6日5時30分から、9日5時15分からそれぞれ1時間、深谷駅北口で行動。6には平和委員会2名、9日は保育園6、平和委2、共産党1の参加。署名は6日2筆、9日6筆。



朝は雪が降った3.27 核兵器禁止条約交渉・国連会議の日。うたごえのみなさんのうたをバックに署名。



宣伝・署名行動、その他随時報告してください。

FAX 048-863-5426